



一般社団法人
鹿児島県私立幼稚園協会
〒890-0064 鹿児島市鶴池新町5-8
鹿児島県プロパンガス会館502号
TEL(099)285-6688 FAX(099)285-6688
E-mail muzicoku@muzocan.net
ホームページ <http://muzocan.net/>

* * * No. 30 * * *



『幼稚園って楽しくない?』

(一社) 鹿児島県私立幼稚園協会
顧問 園尾 憲一



最近では「子ども子育て支援新制度」や「幼児教育の無償化」が始まり、幼児教育の地位が向上してきたものの、昔は「三つ子の魂百までも」と言う割に、社会的評価は低かった。そんな70年近く昔、往時は珍しかった幼稚園に通った経験があるが、どうやら、「幼稚園って楽しくない」と思う園児だった節がある。

とにかく「踊ること」が大の苦手で、今で言う「登園拒否児」だったようだ。そのくせ主役になれず悔しい思いをした記憶があるから、我の強いわがまま園児だったみたい。そんな私を諭しつつ園へと誘う亡母の優しい面影が脳裏から離れないマザコンが、今や園長。いと可笑し。

それでも、担任の先生は素敵だったし、登園の道中で母と交わす会話は無上の喜びだったので、案外「幼稚園って楽しい」と思っていたのかも。それに比べ「コロナ禍」での登園自粛は不憫だ。文科省による「全国一斉休校」には正直まいった。大学など高等教育ではリモート授業もあり得るが、幼児教育は「群れ遊ぶ」ことでコミュニケーション能力や社会性を培うものだから、心や体を生でぶつけ合えないリモート保育は馴染まない。

鹿児島は首都圏のようなエピデミックではないが、私自身も感染の噂を流されるインフォデミックに悩まされるなど、保育現場は大変な思いをしてきた。収束でなく早く終息すればと切に願う。

さて、その新型コロナに関し一言。環境学者は「ウイルスは生態系ピラミッドの安定性を保つ監視役であり、コロナ危機は自然界から人間社会への逆襲」と言う。ピラミッドの頂点に立つ人間が自然界の奥地へ生活圏を拡大することで、未知のウイルスに遭遇する危険性が増し、グローバリゼーションにより更に広く早く伝播するのだから、未来の子供達のために、ローカリゼーションへの回帰も検討すべき課題かも知れない。

われら園長としては、60-70年代の市民運動で語られた「Think global act local」のごとく、幼児教育をグローバルに捉えローカル（自園）で豊かに展開したいもの。すなわち自然と対峙するではなく、身の丈に合わせ自然と共に生きる価値観を育み、子供達が「幼稚園って楽しい！」と笑える幼児教育の創造だ。PTAのAとて遊びワークのA。親も子も教師も共々に幼稚園で一杯遊び楽しんでほしい。心からそう思う。

令和2年度 新規採用教員研修会

試験はゴールではなく

新たな未来へのスタート♪



もすぐに役立つ保育技術などを学ぶ研修会となっています。就職はゴールではなく、新たな未来へのスタートです。実際に社会人として働く中で抱える不安や悩み、迷しさ、やりがい。子ども達と日々接する中で学んでいく専門的な知識などを積み重ねることで「保育者」として成長していきます。鹿児島県私立幼稚園協会では就職後も先生達の学びの場「を準備し、質の高い教育・保育実践を目指しています。



令和2年度 保育教諭等研修会

令和2年11月10日～11月11日

- | | | |
|---------------------------|------|----|
| ■第一幼稚教育短期大学非常勤講師/給本専門士 | 西元道子 | 先生 |
| ■鹿児島純心女子大学准教授/臨床心理士・公認心理師 | 中村誠文 | 先生 |
| ■鹿児島県立鹿児島養護学校教頭 | 岡元明広 | 先生 |
| ■学校法人菊地学園 理事長 | 菊地政隆 | 先生 |
| ■鹿児島大学病院 感染制御部副部長 | 川村基樹 | 先生 |



鹿児島県私立幼稚園協会主催 オンライン合同就職説明会開催



島県私立幼稚園協会が主催、Zoomオンライン合同就職説明会が初開催されました。県内六十近くの幼稚園・認定こども園が発表園となり養成校の学生へそれぞれの園の魅力を発信しました。また発表も各園それぞれの個性が見られPowerPointを活用する間、紙芝居で園紹介をする園、なかには舞台発表形式で漫才を繰り交ぜながら発表する園もありました。オンライン合同就職説明会、各園発表の様子は専用ホームページから無料で閲覧が可能です。就職活動などにお役立て下さい。

こちらの専用ホームページ
から撮影した映像を閲覧で
きます。



私たちにできること ～保育者として～

認定こども園川辺幼稚園（南九州市）
主幹保育教諭 佐方 里美

今年は、コロナ禍により小さな子ども達の園生活にも大きな影響がありました。「残念だけど、仕方がない」と中止した行事もありました。

しかし、子ども達にとっては大切な一年。いつもと同じようにできること、「安心・安全を考慮しながらできる事がないか」「達う形で楽しめないか」と行事を検討していきました。最初は何ができるか?と悩みましたが「どのような体験・経験をしてほしいか?どんなことが楽しいか」と考えると様々な「できること」が見えてきました。そして、どんなことにも興味を示し「たのしかった!」という子ども達の笑顔に、多くの経験や実体験が、満足感・自信・知識へつながっているのだと感じました。

変わりゆく社会環境の中を生きていく子ども達。これから迷い悩むこともあるかと思いますが、友達と共に考え、行動し、楽しんだ経験を生かして前向きに進んでほしいと思います。また、私たち保育者も、子どもと共に楽しむ心を持ち続け笑顔に寄り添っていけたらと思います。「コロナ禍」は、私にとって保育の新しい一歩を踏み出すきっかけとなりました。



逆境にめげず希望をもって

幼保連携型認定こども園やはた幼稚園（鹿児島市）
園長 福澤 一

新型コロナウィルスの感染の怖さを知つて以来、幼稚園の状況も感染対策に振り回されている。ウイルスは生物であり、自然である。

同じ自然でも、温暖化も無視できない。本園でも、今年は園庭を遮光ネットで覆つたり、運動会の場所を屋外から屋内（鴨池ドーム）に変更したりして、猛暑を乗り切ろうとしている。

コロナ禍で、卒園式や入園式は保護者の人数制限をして来賓も呼べず、PTA総会は書面による開催となり、お泊り保育は宿泊なしである。ほとんどの行事は、3密を避け、縮減・縮小となった。

その対策は、計画や準備に時間も労力もかかる。しかし、園児の成長に生かせるようにとの思いで、職員は創意工夫し、英知を振り絞って乗り切ろうとしている。

このような状況で、この秋、本園の桃や柿、リンゴの実が見事に成り、収穫祭を行つた。園児と共に、自然の恩恵に感謝し、収穫の喜びや実を食す楽しさも味わうことができた。

これからも、自然のもつ恩恵と人間の英知を信じ、様々な逆境にめげず、希望をもつて、明るい未来を目指したい。



新型コロナウィルス感染症対策

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。

一方で、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられます。

新型コロナウィルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。

これまでのクラスター分析で得られた知見から、

- ・感染リスクが高まる「5つの場面」
- ・感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

が新型コロナウィルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。

みなさまには、引き続き、感染リスクが高い行動を避けていただき、クラスター連鎖を抑えて、感染拡大防止にご協力をお願いします。

「5つの場面」に気をつけよう

1

飲酒を伴う
懇親会

2

大人数や長時間の
飲食

3

マスクなしでの
会話

4

狭い空間での
共同生活

5

居場所の
切り替わり

換気を良くして
三密を避けよう!



いつでもマスク
手洗い・消毒忘れずに!

のぞみらしく4兄弟

認定こども園のぞみ幼稚園（薩摩川内市）
保護者 桐山 雄一郎



我が家の中の子どもは4兄弟。8年前に長男が幼稚園に入園してから毎年、幼稚園の運動会を楽しん

できました。今年は四男も年少へ入園し、年長三男と2人、毎日楽しそうに幼稚園へ行っています。今年は新型コロナウィルスの影響により、運動会の開催も危ぶまれましたが、園のご考慮もあり、規模を縮小し午前中のみの運動会の開催となりました。2週間前より運動会練習が始まり、子供たちは園での生活がより一層楽しそうでした。家に帰ってきたら「このダンス見てえ～」と踊ったり、「かけっこはいつも3位だよ」と、とても楽しそうに語りかけてきます。

迎えた運動会では、期待以上のダンスの良さに思わずんまり。四男の初めてのかけっこでは緊張のせいか走ることに集中できず最下位でしたが、最後まで走り切った姿に感動。三男はサークル競争でまさかの1位。本人も大興奮で、家でもお兄ちゃん達に「1位取ったよ～」と、大はしゃぎ。この日は2人の晴れ舞台であるとともに、私たち親も、まだまだ小さいと思っていた我が子の成長を感じざるにはいられない大切な日。まだ生まれて数年の我が子が、また来年どんな素敵な姿を見てくれるのか。また来年が待ち遠しい。

親子で学んだ特別な1年！

幼保連携型認定こども園みのり幼稚園（鹿児島市）
保護者 吉留 さおり

「Kirin's Marching Band」と題してオープニングを飾った年長組のマーチング。年長組にとって幼稚園最後の運動会は初の午前開催となり、マーチングがオープニングを飾ることも初の試みでした。例年より観客も少ない中ではありましたが、凛々しく、生き生きとした子どもたちの姿に会場全体が見入り、その光景にオープニング早々、涙が溢れました。

今年はコロナ禍でほぼ全ての行事が中止もしくは規模縮小開催となり、親としては不懼に思うこともありましたが、子どもたちはどの行事に対しても全力で向き合い、心の底から楽しんでいるようです。できないことを嘆くより、できることに感謝して楽しむ前向きな姿に親の方が力をもらっています。感染拡大に細心の注意を払い、工夫し

て行事を開催して下さった先生方には本当に感謝しております。

来年からはいよいよ小学校一年生。小学校初の行事もまだまだ制限があるのでしょうか。これまでとは違うこの特別な一年を過ごし、園生活を通して子どもたちは強い心と思いやりの気持ちを育んでいただいたように思います。子どもの力を信じて見守り、どんな状況であっても前向きに、共に笑って過ごせるよう、親子で一緒に成長していきたいと思います。



ざんまい

ホームページ三昧

幼稚園ナビ

幼稚園などの先生を
募集しているサイト
あなたも教諭として
働いてみませんか！



むぞかネット

県内の幼稚園や
認定こども園を紹介
お役立ち情報などが
満載ですよ～!!



絵本の紹介

全日私幼連が選ぶ
『絵本大賞』を紹介
ぜひお子様と一緒に
読んでくださいね!!

